

Campus news

とっておきキャンパスライフ



広島女学院大学
HIROSHIMA JOGAKUIN UNIVERSITY

No. 200

JUN.2021

| 特集 |

ようこそ広島女学院大学へ

～留学生特集～



日々のワタシ

管理栄養学科4年
(盈進高等学校出身)

川崎 菜穂

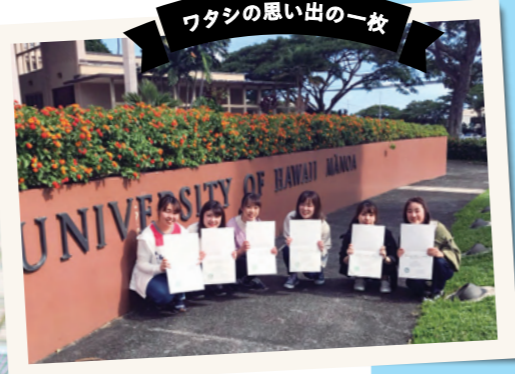
人生の価値観を変えてくれる
今しかできない経験



私は入学前から、「今しかできない経験」を大切に「過」そうと決めていました。その一つが食育サークルでした。はじめは「同じ学科の先輩がいるサークルに入りたい」と、そんな軽い気持ちでの入部でしたが、入部してからは色々な活動に自分から参加するようにし、料理教室、あやめ祭、ベジフルランチの考案など、数多くの「今しかできない経験」ができたと思います。これらの経験を通じ、今まで固定概念

でしか捉えていなかった物事や、自分の価値観が大きく変わりました。知らない世界へ自ら一歩踏み出す勇気が、今後の人生の価値観を作り出してくれるように思います。後輩の皆さん、大学生の今だからできること、得られるものがあります。どんな経験もきつと自分の視野を広げてくれるはず。きっかけや方法を探して、行動に移していきましょう！

ワタシの思い出の一枚



大学2年生の後期に、ハワイでの海外研修に参加しました。この写真はハワイ大学で修了証をいただいた時のものです。研修ではアメリカの健康問題や食文化などを学び、現地の人々の思いやり精神、優しさに触れることができました。自分の視野が広がり、精神面での学びもたくさんあったと思います。一緒に参加した同級生や後輩と、準備から事後の報告をまとめるころまで長い期間活動したことも含め、大学生生活で一番の思い出です。

新学長
ご挨拶

広島女学院大学の Mission -使命- とは



広島女学院 院長
広島女学院大学 学長

三谷 高康

広島女学院大学は創立の当初から、キリスト教を基盤として、冷静な判断力を備え、毅然として責任ある行動を取る女性、しかも寛容な精神をもって他者を受容し、国籍や文化の違いを超えて行動する女性の育成に努めてきました。こうした教育理念を具現化するために、深い教養とグローバルな視野を育てる「人文学部」、資格取得を主眼に、高度な専門的知識を涵養する「人間生活学部」の二学部を置いています。その特色を、前者を「college of liberal arts」、後者を「college of professional arts」と呼ぶことが出来ます。また、学びの基礎を磨き、学び方を学ぶために「キリスト教入門」「日本

語表現技法」「情報リテラシー」などの全学共通基礎科目、さらには女性の一生を生き抜く力を身につけるライフキャリア科目。そこには自己を知り、社会を知り、そして世界を知るのに役立つ「女性史」「キャリアアプランニング」「インターンシップ」などの科目が配置されています。もちろん、平和を深く考える「ヒロシマと平和」、国際的な経験を広げる「海外インターンシップ」などの科目や海外留学制度も特徴的です。広島女学院大学は女性のために存在する大学です。女性が主役の大学です。ですから、大学は学生の皆さんがありのままの自分に向き合い、自己を磨き、自信をつけて社会のリーダーに成長する機会を提供しています。同時に、職業のみでなく、結婚や育児、さらには介護というライフイベントをキャリアとしてとらえ、人生のいかなる段階にあっても大学に戻りリフレッシュできる「エンパワーメントセンター」も充実させています。

みに たかやす ● 1950年大阪府生まれ。1976年同志社大学神学部を卒業。1980年イエール大学大学院修士課程を修了。1983年アンドヴァー・ニュートン神学大学院博士課程を修了。2006年に桜美林大学教授、2012年から2018年まで同大学長に就任。2021年4月より本学院院长・学長。



デン カシン
田可心
(遼寧省鳳城市第一中学出身)

from 中国

留学のきっかけ!

私が広島女学院大学を選んだ理由は3つあり、1つ目は環境です。女学院は自然が豊かで、季節感を味わいながら勉強できます。一年中緑の中で学校生活を送ることができるので、勉強で疲れたとしても、この緑を見ると心が落ち着きリフレッシュできます。2つ目は、少人数のクラスで英語ネイティブの先生と話せる機会が多いことです。新しい言語を学ぶのに一番大切なのは、毎日話すことだと考えています。女学院では、英語教育を重視しており、さまざまな授業でネイティブの先生と話ことができ、言語の学びに最高の環境を提供してくれます。3つ目は1年次の1対1サポートです。1年生は大学生活にあまり慣れておらず、わからないことがたくさんあります。女学院では1年生のために、1週間に1回チューターの先生と面談をする時間があります。この時間で、生活上で困っていることを相談したり、授業で聞き取れなかった部分を質問できます。外国籍の私にとって、この制度は不安を取り除き、大学生活を助けてくれると考え、この大学を選びました。



2019年4月、入学式にて



1年生の基礎英語の多読活動で頑張ってもらった賞状と図書カード



可愛!

宮島で撮った一枚です

英語も日本語も一緒にチャレンジ!
充実した留学生活

Question

どんな女学院ライフを過ごしてる?

Answer

日本に来て4年目になりました。大学を通してさまざまなことにチャレンジし、充実した留学生活を送っています。新生生のオリエンテーションキャンプは不安に思いながら参加しましたが、学科のみんなは優しく、夜、一緒にアイスを食べたリメイクをしたりして、とても楽しい思い出ができました。2019年6月に行われた東広島での留学生交流会では、いろいろな国の学生と話したり、ゲームをしたり、とても仲良くなりました。2年生の時、私は中国から来た新生生2人の留学生チューターを担当しました。私もまだわからないことだらけでしたが、3人で一緒に問題を解決して学業に励むことができたのが、1年間のチューター生活で一番楽しかったことです。昨年は、新型コロナウイルス感染症の影響で約半年はオンライン授業でしたが、先輩や先生に助けをもらい、無事に単位をもらうことができました。

2019年6月に参加した「留学生交流会in東広島」の集合写真。酒造りの工程を見たり試飲をしました



1年生のリーディングの授業で作ったブックポスター



你好! 你好! 你好! 你好!



日本文化学科4年
Chamart Suangsuda (タイ)



国際英語学科3年 田可心(中国)

ようこそ
広島女学院大学へ



~留学生特集~



日本文化学科1年
Tran Thi Thao (ベトナム)



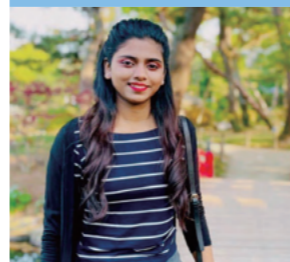
日本文化学科1年
Tran Thi Thuy Linh (ベトナム)



広島女学院大学には毎年留学生が入学しています。

そんな留学生たちがどんなきっかけで留学しようと思ったのか、

また、広島女学院大学での学生生活について聞いてみました。



国際英語学科2年
Indipilli Gamage Danushi Thamanjalee (スリランカ)



日本文化学科2年
王静(中国)



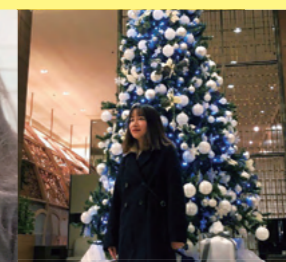
日本文化学科2年 趙吳桐(中国)



日本文化学科1年 Yeo Gaeun(韓国)



日本文化学科2年 Ngo Ngoc Khanh(ベトナム)



日本文化学科2年 唐彩霞(中国)



日本語学科2年 Ngo Ngoc Khanh
(LIEN HA高等学校出身)

from ベトナム

留学のきっかけ!

高校を卒業し、私は日本へ留学することにしました。1年間日本語学校で勉強して、どの大学に進学しようか迷っていると、先輩が広島女学院大学を勧めてくれました。誰でも知っている、桜やドラえもんなどのただの知識ではなく、日本文化についてもっと深く学びたい、そしてほかの人にも伝えたいと決心し、志望しました。また、女子大学に入れば、自分と同じくらいのほかの女の子が頑張っている姿を見て刺激になるし、女性向けの特別な授業も充実しているだろうと考えました。きっとここでなら、将来みんなに負けない、輝く女性になれると思っています。さらに、この大学の国際交流プログラムが気になったのも、この大学を選んだ理由です。世界9カ国、27校に広がる提携校・交流校があり、各国の他の留学生と交流できる点が素晴らしいと感じています。



2020年3月に迎えた日本語学校の卒業式



先輩の日本語学校の入学式に出席しました



女学院ならではの授業で輝く女性を目指して

Question

どんな女学院ライフを過ごしてる?

Answer

入学してから、1年間が過ぎました。この1年は新型コロナウイルス感染症の影響で、学校で授業を受けることができなくなったりしましたが、自身の成長を感じ、知らなかったことが学べた点はとても大きかったです。まず、キリスト教についてですが、授業を受けてみると想像以上に面白く、わかりやすく、美しい生き方を連想させるものでした。次に英語の勉強ですが、もともと興味がなく、身につけるのは難しいと思っていましたが、先生の教え方が面白く、親身になって応援してくれ、どんどんやる気になりました。昨年、英語の読書チャレンジというコンテストに参加して、毎日読書をし、やっとダイヤモンドレベルを達成しました。すごく嬉しくて、これからもっと頑張っていきたいと思っています。大学生活で困ったことがある時に、すぐにアドバイスをくれ、いつも助けてくれるチューターの先輩と先生に心から感謝しています。



大学の授業の教科書



2021年のお正月、THE OUTLETS HIROSHIMAにて

XIN CHÀO MỌI NGƯỜI!

インディピリ ガマゲ ダヌシ タマンジャリー

国際英語学科2年 Indippili Gamage Danushi Thamanjalee
(Anula Vidyalaya出身)



from スリランカ

留学のきっかけ!

叔父の家族が広島に住んでおり、小さい頃から広島の話聞いて私もいつか行きたいと考えていました。スリランカの高校を卒業して広島の日本語学校に進学することで、その夢が実現。2年間日本語の勉強をし、その時に広島のさまざまな文化イベントに参加して、人々の優しさや親しみやすさを知りました。また、原子爆弾投下から今までの街の歩みも知り、母国、日本、世界を結ぶ懸け橋になりたいという思いも芽生えました。世界の文化の違いや国際関係を学びたいと強く感じ、さまざまな国の友人とつながりたいという思いもあり、この大学のGSEコースに興味を持ちました。オープンキャンパスに参加し、授業が英語で行われるGSEコースは希望通りだと実感し、進学を決めました。



広島大学で開催された文化交流会「IDEC OPEN Day」に参加し、ダンスのコンクールで1位を獲得しました



日本語学校ではじめて筆を使って漢字を書きました。難しかったけど、とても楽しい思い出になりました



紅茶 (Ceylon Tea)

幼い頃から憧れていた広島へ、世界を結ぶ懸け橋に

Question

どんな女学院ライフを過ごしてる?

Answer

入学後は、出された課題を丁寧にこなすことで学業成績も順調に伸びています。留学生ということでわからない点も多くありますが、学校で紹介してくれた2人のチューターが友人となり、つねにサポートし、姉妹のように仲良くしてくれています。この大学の教育システムは非常にレベルが高く、目標達成に対して計画的。女学院大学を選んだ本当に良かったなと感じています。



友達と初めての宮島

今大学で使っている教科書

ආශ්වාසය!

学内でできる!

国際交流活動



活動 01

留学生チューター



(右手前から) 須澤さん(留学生チューター)
日本文化学科2年 趙昊桐さん(中国)
日本文化学科2年 薛雪さん(中国)
日本文化学科3年 中川 麗花さん(留学生チューター)

日本文化学科3年
須澤 麻衣
(山陽女学園高等学校出身)

留学生チューターは、広島女学院大学に留学している学生の身の回りの心配事や悩み事を一緒に解消したり、留学をより良いものにするためのお手伝いをしたりする活動です。

私は、中国から来た二人の留学生のチューターとして活動しています。週に一度お昼ご飯を一緒に食べ、彼女たちの国の話や、日本での生活のことなどいろいろなことをお互いに話します。彼女たちは慣れない環境であるにもかかわらず様々なことに真摯に取り組み、何事にもあきらめずにチャレンジをしています。そんな二人の姿から私はいつも刺激をもらっています。

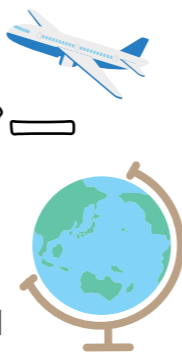


活動 02

アカデミック・サポート・センター

課外講座

「English Programs」



アカデミック・サポート・センター(ASC)では、外国人教員による課外講座「English Programs」として、English Conversation Cafe(英会話)、英語能力試験対策講座、Extensive Reading Cafe(英語本の読書会)、English Writing Help Sessions(英文個別学修相談)、SCRABBLE®(英単語ゲーム)を行っています。少人数のアットホームな雰囲気の中、外国文化や時事など、「話す」「聴く」「書く」「読む」スキルを磨き、英語で楽しく学んでいます。国際交流活動してみたい学生は、ぜひ参加しましょう!



English Programsの風景

シャーマート
日本文化学科4年

スワンスター
Chamart Suangsuda
(THATPHANOM SCHOOL出身)



from タイ

留学のきっかけ!

2年間広島の日本語専門学校で勉強しました。卒業後は、もっと広島で生活したいと考え、大学入学を検討し始めました。日本文化に興味深いや感じたため、日本文化学科のある大学を探し、日本語専門学校の先生に広島女学院大学を紹介してもらいました。オープンキャンパスに参加したところ、たくさんの先生、先輩に会うことができ、大学生活や勉強について優しく説明していただいて、とても明るく良い印象を持ちました。大学の雰囲気や建物などもきれいで、いい環境だなとも思いました。女子大学なので、女性のことを理解してくれ、卒業まで楽しく安心して過ごせると考えたのも大きな理由です。学びたい分野があること、大学の雰囲気や環境が良いということが、この大学へ入学しようと思ったきっかけです。



入学する前に参加したオープンキャンパス。組み紐や折り紙など、日本文化に関する活動を行いました

日本文化に興味を持ち女学院へ、多くの学びを得ています

Question

どんな女学院ライフを過ごしてる?

Answer

留学前にはたくさん悩みがありました。周りの人がたくさんサポートしてくれました。特に1年生の時、わからないことがたくさんあり、日本語も上手ではないので、皆さんに色々な方面で助けてもらったことは、本当に感謝しています。授業は簡単ではありませんが、わからないことを友達や先生に尋ねると、皆さん優しくゆっくり説明してくれます。授業時間以外でも相談ののってくれたので、勉強をうまく進めることができました。さらに部活動がたくさんあるので、自分の興味があるものに参加できます。私は合気道や日本文化サークル、ボランティアなどに所属しており、合気道では体を動かしながら精神を鍛え、日本文化サークルでは地域の人々や子どもたちと活動しています。大学生活は本当に楽しく、良い思い出がたくさん作れています。



留学生による「伝える HIROSHIMA プロジェクト」ボランティアにて、グループワークの勉強などをしました

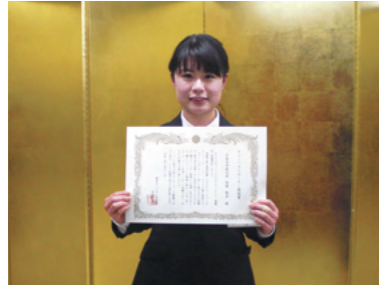


大会スタッフも務めた合気道大会

สวัสดีค่ะ!

女学院
News

2020年度中国新聞キャンパスリポーター賞の
奨励賞を本学学生が受賞!



2020年度中国新聞キャンパスリポーター賞の表彰式が、2月13日に中国新聞本社で行われ、人文学部日本文学学科3年生の西岡聖奈さんが奨励賞を受賞しました。
中国新聞キャンパスリポーターは、中国新聞社と教育ネットワーク中国が2008年から始めた取り組みで、学生が在籍する大学のトピックスを取材・作成した記事が、中国新聞に掲載されます。
西岡さんが「キャンパスリポーター発」で取り上げた、持続可能な開発目標(SDGs)、テクニカルコミュニケーション、キリスト教の時間などの内容は、専門性を必要とするもので、難しいテーマに臨むことなく果敢に挑む姿勢が評価され、受賞となりました。
おめでとうございます!

宮島観光親善大使として活躍します!

人文学部国際英語学科3年生の清水梨花さんが、宮島観光親善大使に選出されました。3月24日付の中国新聞でも紹介されています。広島を代表する観光スポットの親善大使として選ばれた清水さんに、その思いを聞いてみました。

学生メッセージ

知人から宮島観光親善大使募集の話聞き、昔から好きな宮島の魅力を発信し、もっと多くの方に宮島を訪れてもらうための力になりたいと思い応募しました。現在、宮島は新型コロナウイルス感染症の影響で観光客が激減し、毎年恒例の「宮島かき祭り」、「宮島清盛祭り」も中止となってしまいました。厳しい状況ではありますが、新型コロナウイルス感染症が収束したら宮島を訪れようと思って頂けるような活動をしていきたいです。



広島県立美術館
ひろしま美術館に
無料入館できます

本学の学生は、広島県立美術館とひろしま美術館に無料入館できます。特別展などでも入館できますので、ぜひこの制度を利用して、芸術に親しんでください。入館時は学生証を提示してください。

広島県中小企業家同友会と連携協定を締結しました



広島県中小企業家同友会と本学は、地域活性化や人材育成などを目的として、相互に連携協力することに合意し、3月22日に「包括的連携協力に関する協定」を締結しました。広島県中小企業家同友会は、広島県下2,500名を超える会員が在籍し、地域の発展を通じて豊かな国民生活の実現に貢献することを目的としています。近年、広島女学院大学では、経営者と学生の「大企業・中小企業」を通じた意見交換会やインターンシップなどの職業教育のほか、生活デザイン学科の地域デザイン領域のゼミが地元企業を訪問させていただきなどのご支援をいただいております。

本学は、創立以来キリスト教を基盤とした人格教育・リベラルアーツ教育・教養教育を行ってまいりました。一生涯を生き抜く基礎形成のためには、社会体験が欠かせません。今後もさらに、連携協力を進め、本学のミッションである「地域、日本及び世界に貢献できる女性を育てること」に努めてまいります。

2021年度 クラブ・課外活動 参加をお待ちしています

自治会アイリス管轄

【体育系クラブ・サークル】 エスキーテニス部・バドミントン部・ダンス部(Baby☆s)・弓道部・硬式テニス部・陸上サークル(ランニングガールズ)・スポーツ同好会など

【文化系クラブ・サークル】 あやめ祭実行委員会・アンサンブル・エスポワール・クラフトサークル・表千家茶道部・吹奏楽部・茶の湯文化研究会・フォークソング部・日本文化サークル・アカベラサークル・宮島でらこやなど

自治会アイリス役員も募集中!
【お問合せ】
hju-iris@gaines.hju.ac.jp まで。

学生課管轄

オリキャンリーダー、キャンパスニュースリポーター

国際交流センター管轄

留学生チューター、ホストファミリー

宗教センター管轄

チャペルオルガニスト、クワイヤ(聖歌隊)、聖書輪読会、おきなわ文化研究会

ボランティアセンター管轄

折りづるひろば実行委員会、朗読フェスティバル実行委員会

情報管理センター管轄

SCA(スチューデント・コンピュータ・アシスタント)

入試課(広報)管轄

オープンキャンパススタッフ、大学広報スタッフ、キャンパスリポーター(中国新聞社)

CAMPUS
ALBUM
キャンパスアルバム

この春に開催したイベントを紹介します

2020年度卒業証書

・学位記授与式

2020年度卒業証書・学位記授与式が挙行されました。卒業生の皆さまおめでとうございます。皆さまの今後のご活躍とご多幸を祈念いたします。



4年間の
集大成

2020年度入学式

昨年4月に実施できなかった2020年度入学式を開催しました。3月31日で任期を終えた湊 晶子前学長から、建学の精神に基づくメッセージが送られました。



気持ちを新たに
入学式。

2021年度入学式

2021年度入学式が挙行されました。ご入学おめでとうございます。これからの4年間、充実した学生生活となりますように。



新たに
学生生活にならなうが。

2021クラブウィーク祭

クラブの勧誘イベントを開催しました。昨年できなかった分、今年は拡大版で実施しました。



今年は拡大版で
実施しました。

オリエンテーションキャンプ

例年、宿泊を伴うプログラムでしたが、今年度は学内で開催、感染症対策をしながら2日間に分けて実施しました。



とても盛りあがり
ました!!

3~4月の出来事

3/13 2020年度 卒業証書・学位記授与式

3/20 春のオープンキャンパス

3/30 2020年度 入学式

4/5 2021年度 入学式

4/16 オリエンテーションキャンプ(国際英語・日本文化・管理栄養)

4/17 オリエンテーションキャンプ(生活デザイン・児童教育)

4/6~10 2021クラブウィーク祭

4月16日・17日の2日間、新型コロナウイルス感染症予防対策を万全にし、学内で学科ごとに2021年度新入生オリエンテーションキャンプ(略称オリキャン)を開催しました。
プログラムを考え準備・実行してくれたオリキャンリーダーにオリキャンを振り返ってもらいました。

オリキャン開催レポート

管理栄養学科

今年度のオリキャンは初めての学内での実施。さらにコロナ禍での感染防止対策を考慮した内容にするなど初めてのことが多く、戸惑いながら準備を進めました。準備期間が例年よりも短かったため、前日まで不安で一杯でした。しかし、実際に当日を迎えると、バスボムづくり・運動会・ウォークラリーを1年生や先生方が笑顔で楽しんでいる様子をたくさん見ることができました。準備期間の中で、メンバー内でぶつかったことが何度もありましたが、それは、1年生に楽しんでほしい、良いオリキャンを創りたい、という気持ちをそれぞれが変わらず持っていたからだと思えます。1年生の楽しんでいる姿、後輩の堂々と司会している姿を見られたことが、私がオリキャンリーダーになってよかったと思える瞬間でした。



バスボムづくり



運動会での選手宣誓



ウォークラリーで先生の研究室訪問



管理栄養学科
オリキャンリーダー

管理栄養学科4年
西川 淳奈
(安田女子高等学校出身)

生活デザイン学科



生活デザイン学科
オリキャンリーダー

自己紹介ゲーム

生活レクでの制作

開会あいさつ

あやめレクのミニゲーム

体育館でのレク「もの運び」

日本文化学科4年
森下 直美
(山口県立新南陽高等学校出身)

国際英語学科・日本文化学科

今年のオリキャンリーダーは、実際にオリキャンをリーダーとしても経験したことがある4年生、リーダーとしては経験したことがない3年生、昨年オリキャンが開催されず何も分からない状態の2年生というように、オリキャンがどういふものか分からない人が大半でした。そんなメンバーで不安を抱えながらも、準備を進めていくうちに私達4年生のオリキャンに対する想いが後輩達に伝わり、一致団結することができました。

オリキャン当日は大変なこともありましたが、オリキャンに参加した方々やオリキャンリーダー達みんなに笑顔で楽しかったと言ってもらえて、3年間頑張ってきたオリキャンリーダーを務めて良かったと嬉しく思いました。私にとってこの3年間のオリキャンはすべて大切な思い出です。



国際英語学科
日本文化学科
オリキャンリーダー

児童教育学科

私たちオリキャンリーダーは、毎年1年生のために色々なレクを企画しています。今年も友達の名札づくり、玉入れなどのゲーム、先生やリーダーとの交流会など、様々な企画を考え、準備してきました。色々なレクに参加してもらうことで、児童教育学科のことを知り、友達同士や先生、リーダーと交流を深められたと思います。

玉入れゲームでは、オリジナルアイテムの傘にイラストや模様を描き、学生はアイテムめがけてカラフルなボールを投げていきました。また最後に行った模擬授業では、絵本の続きのストーリーを考えて、衣装やアイテムを制作し、発表してもらいました。どのグループも可愛い衣装を身につけた素敵な発表になりました。

今回は、新型コロナウイルス感染症予防対策のため制限はありましたが、それに負けず、色々な企画を練って、児童教育学科らしく、元気に明るく笑顔でオリキャンを成功させることができました！

児童教育学科
オリキャンリーダー

児童教育学科4年
藤原 二千歩
(竹原高等学校出身)



オリキャンリーダー紹介の様子

模擬授業の準備中



玉入れゲームの様子





ボランティアを通じて考える、私たちの「SDGs」

少しずつ世の中に浸透しているSDGs(持続可能な開発目標)。「きれいな海づくりワーキンググループ」に参加している古川若葉さんに、石岡莉沙さんが、「ボランティアとSDGs」をテーマにお話を伺いました。

私がインタビューしました!

石岡莉沙

日本文化学科2年
(星槎国際高等学校出身)

古川若葉

生活デザイン学科3年
(広島女学院高等学校出身)

SDGsとは?

SDGs(エス・ディー・ジーズ:Sustainable Development Goals:持続可能な開発目標)は、「誰一人取り残さない(leave no one behind)」持続可能でよりよい社会の実現をめざす世界共通の目標です。2015年の国連サミットにおいて全ての加盟国が合意した「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の中で掲げられました。2030年を達成年限とし、17のゴールと169のターゲットから構成されています。

「きれいな海づくりワーキンググループ」とは?

本学ボランティアセンター所属プロジェクトの一つである「環境保全プロジェクト」は、大学内の牛田山や江田島で環境保全活動を行っています。「環境保全プロジェクト」の活動を知った音戸町の海で活動しているTeam JIN「仁」(呉市市民公益活動団体)から提携を持ち掛けられたことをきっかけに、プロジェクトを指導していた生活デザイン学科田頭紀和教授が生活デザイン学科に海に関する環境保全に取り組む「きれいな海づくりワーキンググループ」を立ち上げました。2018年度末から一緒に活動しています。



小学校にて授業内で使う教材を確認しているところ

石岡*海ゴミを利用したものづくりは、具体的にどんなものを作っているんですか?
古川* 始まったばかりなので実際にできているわけではないんですけど、現在私たちがいくつか案を出している、そのひとつが海ゴミを再生した定規です。定規だったら自分たちが授業を行った小学校の児童も使えるし、大人になっても使用するの、その方向で動いています。
石岡*海ゴミって、プラスチックが多いんですか?
古川* そうです。牡蠣の養殖の時に、牡蠣と牡蠣の間をつなぐ筒状のプラスチック(牡蠣パイプ)があるんですけど、広島では海岸によく落ちていて、私たちがおもにそれを拾っています。広島が全国で牡蠣の養殖が1位这件事情もあって、「地元でどうにかしないと」という思いがありました。ゴミをたくさん出してしまっているところが、ある程度責任を持ってゴミ回収をすすんでやっていかなければ、実際、漁協に要望書を出しました。

石岡* すごく活動されているんですね。
古川* 本当は私たちが主体的にやっていきたいという気持ちがあるんですけど、わからない部分も多いので、呉でさまざまな活動をしているTeam JIN「仁」と一緒に活動させてもらっています。
石岡* 次の企画は決



実際に小学5年生を対象に授業をしているところ

まっていますか?
古川* Team JIN「仁」さんから「今度、企画やるよ」とお声をかけてもらっているんで、他大学の人も誘って輪を広げたいなと思っています。
石岡* 活動の中で大変なことはありますか?
古川* 自分たちから発信していく難しさ、伝えることの難しさは、常に感じています。もともとボランティアの経験がなく、自分で何が行動することをしてこなかったの...。海ゴミがもたらす環境被害や、SDGsについても知らないことだらけで、その中で、小学生やイベントに参加される保護者の方々に、どう伝えたらわかりやすいか悩みました。実際、2020年9月に呉市音戸町の波多見小学校で5年生を対象に「お魚学習会」という授業をした時は、クイズ形式で授業を進めました。子どもたちの海に関する知識や興味が私たちの想像よりも高くて、学ぶ点がたくさんありました。活動のあと感想をいた

石岡* まずはじめに、古川さんの活動について教えてください。
古川* 1年生の頃から「きれいな海づくりワーキンググループ」に参加しています。呉市音戸町の大浦崎海岸をきれいにする活動がメインで、ほかには小学生に授業をしたり、海のゴミを生かしたものがかりをしたりするような活動をしています。
石岡* もともとどのような活動をしていましたか?
古川* 全然。以前は、「そんなに興味ない」「ボランティアは機会があれば行く」という感じだったんですけど、大学に入って「変わりたい!」って思うようになったというか...。それで始めてみました。
石岡* では大学に入ってから?
古川* はい。きっかけは、授業の中で配っていたボランティアのチラシで。そこに呉市音戸町で書いてあって、私の祖母が住んでいて、幼い頃から大浦崎海岸によく連れて行ってもらっていたので、縁があるなう。実際に活動できたら、おじいちゃんにも活躍しているのを見てもらえるんじゃないかっていう思いもありました。そんな私欲にまみれた動機だったんですけど(笑)。やっといううちに、海ゴミやSDGsに関心がわくようになりました。
石岡* 最近のSDGsについてはどう思いますか?



インタビューに答える古川さん

古川* 子どもたちに教えるために講習会を1回受けに行つて、SDGsゲームというカードゲームをやったんですけど、やればやるほど簡単じゃないなって。
石岡* 活動していく中でSDGsの広がり意識することはありますか?
古川* あまりないです。SDGsの講習会に、企業の方も数名来ていたんですが、「SDGsって何?」「自分の会社でどう取り入れたらいいの?」っていう感じだったので、世間的な意識はそれくらいだなと思いました。まずはいろんな人がSDGsについて言葉を知って、啓蒙的な活動ができれば成功なんじゃないかなって思います。
石岡* 結局は、ちょっとしたことでもSDGsを意識した活動ができるってことなのかもしれないね。
古川* 以前、甘日市で牡蠣の業者の方と山で木を植えるという活動を行ったんです。海と山とをつなげて、そこにSDGsを絡めた活動ができればと考えています。



一緒に活動したい方、募集中です!

だいたりするんですが、前向きな意見を寄せていただけるとすごく嬉しいです。小学生が活動に参加してくれた時に、気付いたことをおうちの人に伝えたり、実際に海岸に遊びに行ってくれたりして...。そういった、小さな気付きや発見が広がっていくと、本当に良かったなと思っています。
石岡* 最後に一言お願いします。
古川* プラスチックは根本的にどうにかしないといけないと思います。今はバイオプラスチックなどを積極的に採用しているところも多いので、そうした意識が広がってくれたらいいですね。そして、広島は牡蠣パイプの問題は、広島県民だからこそ知っておくべきことだと思うし、知るだけで行動が変わると思うんです。私たちの行動が変われば企業も変わるし、大きなムーブメントが起きるんじゃないかなって思います。まずは皆さんに、何かしらの興味を持って欲しいです。

なるほど 就活

“インターンシップに参加する理由”



インターンシップとは、企業や組織での就業体験のこと。数日間のものから1カ月以上にわたるものまで期間はさまざまですが、社会に出る前にビジネスの現場を体感することができます。「参加の目的は?」「インターンシップの必要性は?」など、疑問を感じている人たちへのアドバイスとなるよう、過去に参加した人たちの声を集めてみました。ぜひ、参考にしてください。



ランバスホール2階、学生課や教務課と同じフロアに位置している「キャリアセンター」。皆さんが「自分らしい生き方の選択」を叶えられるよう、各学年に合わせた支援を行っています。低学年のうちから「ちょっと進路に迷っていて...」将来に向けて何かしたいけれど、

どうしたらいい?」といった相談をするのもOK。先輩たちが書いた採用試験の報告書を読んだり、インターンシップやイベント案内の掲示に目を通したりと、活用方法はさまざまです。オンライン面談も可能。お気軽にどうぞ。

2020年度 先輩たちの就職状況

2021.5.1現在

学科	国際	生活	栄養	幼心	合計
卒業者数	103	49	65	71	288
就職希望者数	90	44	63	70	267
就職者数	82	42	63	69	256
大学院進学者数	3	1	1	0	5
就職率 ※1	91.1%	95.5%	100.0%	98.6%	95.9%
実就職率 ※2	82.0%	87.5%	98.4%	97.2%	90.5%

※1 就職率 = 就職者数 ÷ 就職希望者数 ※2 実就職率 = 就職者数 ÷ (卒業者数 - 大学院進学者数)

<主な就職先>

AICエデュケーション/広島トヨタ自動車/コンクエスト/ゆうちょ銀行/広島市農業協同組合/愛媛銀行/ひろぎん証券/マイナビ/ライクスタッフィング/新星工業社/コストコホールディングス/イオンリテール/フレスタ/global bridge HOLDINGS/広成建設/大和リース/増岡組/エイブル/アンソデザイン/アダストリア/ビームス/バイクルースグループ/ヤマサキ/ツルハグループドラッグ&ファーマシー-西日本(ウォンツ)/アプレひまわり/明治/山崎製パン/タカキペーカリー(アンデルセン)/サブリメントジャパン(山田養蜂場グループ)/日清医療食品/淀川食品/あかね会 土谷総合病院/鳥取大学医学部附属病院/国立病院機構 中国四国グループ/陸上自衛隊/公務員(広島県・鳥根県)/公立小・中・高等学校教員/公立保育士/法人幼稚園・認定こども園・保育園 他

参加するメリット

- 自分が働く姿をイメージしやすくなる。
- 興味のない分野にも参加してみると、志望業界を絞ったり広げたりするのに役立つ。
- インターンシップは、人事担当者だけでなく、現場で働く社員にも会える。
- 社員の方から就活のアドバイスをもらうことができた。一緒に参加した就活生と仲良くなり、就活を頑張るモチベーションになった。
- 人事の担当者がどういったところを「見る」かがわかった。
- インターンシップでの経験をエントリーシートに書いて、面接時の話題になった。

アドバイス

- 参加する理由・目的を明確にしてから応募すること。インターンシップで得たことを終わったあとに自分で考えることが大事。
- ただの職場見学・体験と捉えずに、事前にその業界をよく調べると、業種に対する理解が深まると思う。
- 自分が感じたことや気づいたことをどこかに書き留めておくのがおすすめ。
- 実際に就職してやっていけるのかをよく考えること。「大手だから」「名前を聞いたことがある会社だから」「お金がたくさんもらえるから」という理由だけで決めないほうがいい。

RELAY ESSAY

Should Virtual Reality be implemented at all English levels at a Japanese University and does it live up to students expectations?

共通教育部門
助教

フェリクス
ダビッド
Felix David

Hi there, my name is Felix, it means "love" in Greek so you can call me that too. I am one of the 4 "Kiso-eigo" teachers at HJU but my mother says that I am more handsome than the other 3. I've been asked to talk a bit about myself and then introduce my research project on Virtual Reality I am currently working on. So here we go!

I was born on a bright sunny day in 1982, July 1st. It was actually in the middle of the night since I am a rather impatient person. Born and raised in a beautiful country called Canada, over the years I have travelled or lived in more than 20 countries. I am fluent in 4 languages and can understand a few others. I love outdoor sports such as trail-running and kayaking, I like Ronaldo, I don't mind when people say I look like Messi, I don't like hot milk and I hate waiting in line.

As my ex-girlfriend would say, enough about Felix. This second part is introducing my research project on Virtual Reality (or simply VR). This semester my students will put on their head a VR headset and visit famous cities like London but also to see the highest waterfall and the deepest lake on Earth. The English words used from now on are more difficult to understand but if you want to see VR with your own eyes, simply come to my office and I'd be happy to show you the world...albeit a virtual one.

Attitudinal Response and Productive Network Knowledge Assessment of using Virtual Reality in a Second Language Acquisition Environment.

In spite of the corona virus, in this research project I want to take my students to Mars. We humans learn through experiences and making use of technologies such as Virtual Reality (VR) that allow students to experience situations that are very close to reality is very promising. However, unlike computers, VR technology does not present the same level of integration in schools and English classes

in Japan are definitely lagging behind in the integration of this technology.

This research will look into virtual reality and the learning process in order to identify the important characteristics of virtual reality technology and its effect on the learning process of a second language. The results should show that the characteristics of interaction and immersion are the most important to consider in a virtual reality technology and its implementation would support the learning process. VR brings the world to students by making learning more accessible anytime, anywhere. In this era of the covid-19, it can give Hiroshima Jogakuin University students the ability to travel the world (to infinity and beyond) without ever leaving the safety and comfort of their classroom.

Specifically, this research will assess the attitudinal response of 137 students through an Attitude/Motivation Test Battery (AMTB). AMTB is a research instrument which has been developed to assess the major affective components shown to be involved in second language learning. This research will also assess both receptive and productive vocabulary knowledge of the student, a common popular multiple-choice method for the receptive aspect and an adaptation of Birgit Henrikson's point system that is based on an overall word association score to assess the productive aspect.



授業中の様子



共通教育部門
助教

フェリクス
ダビッド
Felix David

[研究領域]
Virtual Reality in Language Learning

[担当科目]
基礎英語とWomen & the World 1

[趣味]
Triathlon,
linguistics and smoothies...in that order.

学生時代に読んでほしい本&DVD

『The Hobbit』

J.R.R. Tolkien / 著

My childhood friend recommended it to me when I was 11 or 12 and I've been in love with the fantasy genre ever since.

メニュー あぶら麩丼

材料(2人分)

- ・ご飯…400g
- ・あぶら麩…大2/3本
- ・タマネギ…1/4個
- ・卵…3個
- ・カイワレ大根…適量
- ・砂糖…大さじ1
- ・めんつゆストレート…大さじ4
- ・水…400ml

作り方

- ① 鍋に水とあぶら麩を入れ、ひと煮立ちしたら、くし切りにしたタマネギを加える。
- ② 調味料を加え、味がしみたら溶き卵を入れ、ふたをして20~30秒ほど蒸らし半熟状に仕上げる。
- ③ 器にご飯を盛り、②のをせ、カイワレ大根を添える。

毎月11日は『あぶら麩丼の日』
東北を忘れない!

宮城県の代表B級グルメ「あぶら麩丼」。“東北を忘れない活動”の一環として毎月11日に学食で提供しています。



管理栄養学科4年
川崎 菜穂
(盛進高等学校出身)

管理栄養学科4年
松原 志穂
(山口県立山口高等学校出身)



管理栄養学科の学生が考案したベジフルメニューとレシピを紹介 Vege-full menu Vol.20

小麦粉に水を加えてよくこね、流水ででんぷん類を流した後に残る粘り強いたんぱく質がグルテンです。このグルテンを油で揚げたものがあぶら麩です。あぶら麩は肉の代わりにあぶら麩を使用するため、植物性たんぱく質を摂ることが出来ます。また、肉を使っているようなボリュームがあるので、あっさりしたお吸い物やシンプルなお浸しなどの副菜がぴったりです。今年3月11日、東日本大震災から10年の節目を迎えました。東日本大震災のことを他人事と捉えず、東北を忘れないこと、これからの災害に備える、食育活動を行っていきたくと考えています。

メニューのこだわりは?

食育サークルの元部長が、「地域連携食育セミナー」という授業の中でこの活動に着目。しかしその頃は東日本大震災から5年が経っており、あぶら麩を購入する人が少なくなっていました。そこでこの活動を続けたいと、あぶら麩を使ったレシピ考案や試食会などを企画。毎月11日に牛田商店街の飲食店で提供されていたあぶら麩丼を、飲食店の閉店を契機に引き継ぎ、本学食堂で提供するようになりました。

メニュー提供のきっかけは?

「あぶら麩丼」って何? 麩を油で揚げている「あぶら麩」。香ばしい風味があり、生麩に比べ保存期間が長いのが特徴です。このあぶら麩を用いた丼が「あぶら麩丼」で、宮城県を代表するB級グルメとして知られています。かつて牛田商店街の方が「東北を忘れない牛田商店街活性化運動」の一環として東日本大震災の支援を行い、そのお礼としていただいたあぶら麩を広める活動が浸透しました。

『吹奏楽部』



私たち吹奏楽部は、毎週水曜日に練習を行っており、オープンキャンパスやクリスマスコンサートなど学内でのイベントをメインに活動しています。また、他大学との合同団体「プラススクエア」にも所属しているので、幅広く活動することができます。学年を超えて仲が良いので、和気あいあいとした雰囲気合同練習を行っています。新しい曲をはじめる時も、みんなで相談しながら決めています。現在は思うように活動できていませんが、普段は、練習終わりや休日に予定を合わせてご飯に行ったり、宮島に遊びに行ったりと部活以外の時間もみんなで楽しく過ごしています。

(左から) 児童教育学科3年 松永 智歩(比治山女子高等学校出身)・児童教育学科3年 工藤 雪乃(山形県立鶴岡北高等学校出身)
国際英語学科3年 瀨井 真子(広島高等学校出身)

編集後記

5月から再びオンライン授業が始まり、なかなか落ち着かない状況ですが、いかがお過ごしですか。記念すべき200号! ご協力くださったみなさま、本当にありがとうございました。新しい学長をお迎えしスタートした2021年度。新しいといえば、もう一つ、表紙の写真の場所は、どこでしょう? 正解は、ソフィア2号館1Fの1室です。1Fの3教室がアクティブラーニング教室に生まれ変わりました。次号は、あの場所があんな風に……。お楽しみに!(学生課M)



日本文化学科4年
中野 唯(広島桜が丘高等学校出身)

キャンパスニュースリポーター募集!

私たちと一緒に『Campus News』を作りませんか?

広島女学院大学はどんな大学なのか、どんな人がいるのか一緒に探ってみませんか? 活動内容は、教職員や学生への取材、写真撮影など。見たことや聞いたこと、体験したことを記事にして記者気分も味わえますよ。学生時代の貴重な体験、思い出になること間違いなし! 学部や学科は問いません。少しでも興味があれば、下記問い合わせ先までご連絡ください。また、「紙面に登場したい! 私を取材して欲しい!」なんて方も同時に募集中です。

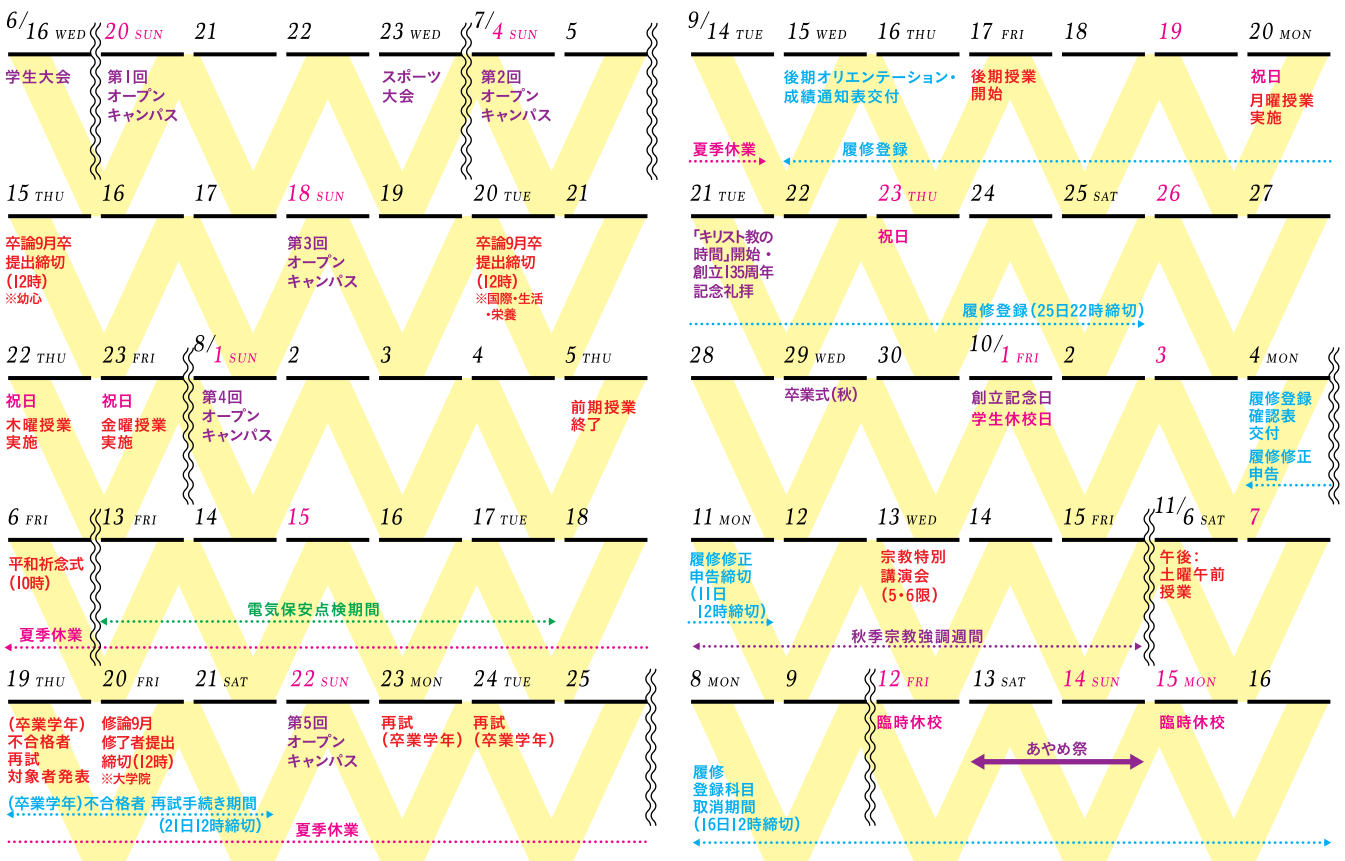
問い合わせ先

総合学生支援センター学生課
tel.082-228-0407
学生課アドレス
gakusei@gaines.hju.ac.jp

広島女学院大学
オリジナルキャラクター
ジョガクインコちゃん



Campus Calendar



※スケジュールは変更になる場合があります。

